三河・静岡

ドアノブ握らず感染予防

初のオリジナル商品開発

セイワ

精密切削加工業のセイワ（本社西尾市長縄町井ノ元10の1、加藤正和社長、電話0563・56・2647）は、手首でドアノブを回すことができる装置を開発した。丸ノブに取り付けることで、ノブを握ることなくドアを開けることができる。初のオリジナル商品で、7月中旬からクラウドファンディングを活用して、支援者に商品を届ける予定。新型コロナ禍で部品加工の受注環境が厳しくなる中、知名度を上げて新規受注につなげると同時に、商品開発にも弾みをつける。（西尾・松田理恵子）

知名度向上と開発弾みに

㊤リスをモチーフにした「リスプン」を手にする加藤社長
㊦ハンドルを手首で押すことでドアが開けられる

開発した「リスト・ドア・オープナー『リスプン』」は、丸ノブに取り付けるベース装置と、動物のリスをモチーフにしたハンドルの2部品で構成。外径5センチメートルのドアノブにベース装置をねじで取り付け、さらにハンドルを取り付けて使用する。リスの尻尾の部分を手首で押すとドアが開くため、手のひらからの感染が予防できる。

商品化に当たっては切削加工技術を生かしてアルミを削り出し、表面処理（アルマイト処理）を施した。ベース装置は高さ6センチメートルで約200グラム、ハンドルは横約10センチメートル、高さ18センチメートル、重量は230グラム。色は赤と金、銀の3種類。

下請けからの脱却を目指して2年前に設立した自社商品開発のプロジェクトチーム「チーム　セイワ魂」を中心に、設計から3Dプリンターによる試作を経て完成させた。

クラウドファンディング「キャンプファイヤー」を通じて、1万円の支援に対し3色から希望の色を贈る。目標金額は50万円。

加藤社長は「自社で設計まで挑戦したのは今回が初めて。会社の知名度を上げると同時に、今後も世の中の役に立つ商品を開発したい」と話している。

同社は1969年創業、82年設立。自動車やロボット、メガネレンズ加工機などの部品加工を手掛ける。2019年10月期の売上高は10億5千万円。

●三河支社
岡崎市明大寺町寺東5―3鈴熊ビル
電話 0564(52)2260
FAX 0564(54)2336

●刈谷支局
刈谷市相生町2―11佐藤会計ビル
電話、FAX兼用 0566(21)6106

●三遠支局
豊橋市萱町21佐藤ビル3階
電話 0532(54)2668
FAX 0532(35)7100